



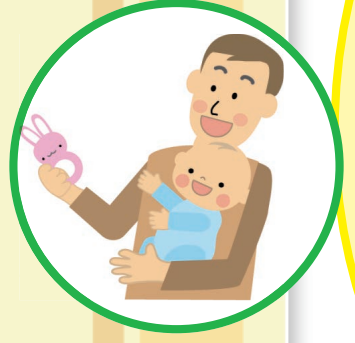
No.22



中井町

ひだまり

2016年3月15日号



**男女
共同参画で
元気なまちづくり**



男女共にいきいきと暮らせる町を目指す情報誌

目次

- 中井町男女共同参画推進講演会の開催・・・P2
- 講演会参加者の声・地域参加へのヒント・・・P3
- 女性活躍推進法ってなに??・・・P4

女性がさらに輝ける社会を目指して平成27年8月に法律が成立しました。

◆女性の職業生活における活躍の推進に関する法律◆

●働く女性の現状

女性の就業率が増加する一方で、依然として根強い長時間労働を前提とした労働慣行等から、仕事と生活の両立ができずに就業継続やキャリアアップを諦める女性も多く、約6割の女性が第1子出産を機に離職しています。

また、役員等の指導的地位にある女性の割合は諸外国と比べて低い水準にとどまるなど、働く場面における女性の活躍は不十分と言わざるを得ないのが現状です。

●成立の経緯

国では、女性の力を「我が国最大の潜在力」として位置づけ、「日本再興戦略」に、女性の活躍推進に向けた新たな法的枠組みの構築について盛り込みました。

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律は、働く場面で活躍したいという希望を持つすべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するために、極めて重要な法律として期待されています。

●どんな法律なの？

●以下を基本原則として、女性の職業生活における活躍を推進し、活力ある社会の実現を目指します。

- ① 女性に対する採用、昇進等の機会の積極的な提供・活用と、性別による固定的役割分担等を反映した職場慣行の影響への配慮が行われること。
- ② 必要な環境整備により職業生活と家庭生活の円滑かつ継続的な両立を可能にすること。
- ③ 本人の意思が尊重されること。

●国や地方公共団体、民間事業者（労働者が301人以上）には、以下の事項が義務づけられます。

自社の女性の活躍情報を把握して課題分析

行動計画の策定、届出、社内周知、公表

女性の活躍に関する情報を公開

●実施状況が優良な企業は認定を受けることができます。

行動計画の策定・届出を行った企業のうち、女性活躍推進に関する実施状況等が優良な企業は、厚生労働大臣の認定を受けることができます。今後、女性が働く場所を選ぶ時の1つの目安にすることが出来ます。



これからはより女性が働きやすくなる環境になりそう！

それに、情報公開の義務付けや、認定制度のおかげで、働く前から会社のことが分かりやすくなるわ！



※女性活躍推進法に関する情報は、厚生労働省のHPで紹介しています。

「ひだまり」への御意見、御感想をお寄せください。お待ちしております。



編集 / 中井町男女共同参画推進懇話会 発行 / 事務局 中井町地域支援課
 〒259-0197 足柄上郡中井町比奈窪 56 番地
 TEL:0465-81-3907 FAX:0465-81-1443 E-MAIL:chiiki@town.nakai.kanagawa.jp

講演会参加者の声

(一部抜粋)



◆我が家の男性のことを思うと...

今日教わったことを実践してみようと思った。(40代女性)

◆人はいくつになっても「ほめられたい」ものです。

好きなことをしてほめられること。このような社会ができると素晴らしいと思いました。(50代男性)

◆自分の好きなことや得意なことを生かして社会に貢献できたら幸せだと思います。

退職後の身の振り方を考えるのが楽しみになってきました。(50代女性)

◆放っておく、ほめるのポイントがコミュニティで大切だと感じました。(60代女性)

◆男性の家庭生活や地域社会への参加が、いかに円滑で豊かな家庭や社会をつくりだすか学ぶことができました。

(60代男性)



●地域参加をするためには

あなたのスキルややる気を、地域や家庭に活かしてみませんか？

新しい楽しみや、仲間の発見に繋がるかもしれません。



団体・サークル情報

町では、地域で活動する団体の情報を1冊の冊子にまとめて配布しています。

あなたの気になる団体が見つかるかも？

住民活動保険

自治会や地域活動団体、ボランティア団体の地域活動に対し、町が保険契約をしています。

まちづくりパートナー制度

地域のために何かしたいと思う人と、協力者を必要としている人を結びつけるボランティア制度です。

備品貸出制度

町が所有する備品を無料で貸出します。

そんな時は町の制度を活用してみよう！



なかなか地域参加への一歩が踏み出せないなあ...

※詳しくは地域支援課まで

◆男女共同参画推進講演会を開催しました◆



ほった つとむ
講師：堀田 力 氏

●講演会の主な内容

○女性に対する2つのお願い

男性の家庭参加を促進するために、女性のみなさんにお願ひがあります。

①放っておく

出来ない男性の姿を見ていると、つい手を貸したり、自分でやってしまいたくなるかと思いますが、それでは男性が成長しません。最初はまどろっこしいかもしれませんが、ほったらかしにしましょう。

最初は冷蔵庫をあさることから、3日後にはアイロンがけをはじめられるかもしれません。1週間もすれば、自分の周りのことはだいたい出来るようになるでしょう。

②ほめる

男性も初めての事を恐る恐るやっているのだから、挫折するとすぐにやめてしまいます。調理に失敗した料理を食べるのも、アイロンがけた服を着るのも男性自身です。自分には関係ないと割り切り、ほめてあげましょう。

○男性への地域参加のヒント

地域活動やボランティアを行う時は、周りへの義務と感じずに、自分の好きなことをやりましょう。自分の思春期にやりたかったことを思い出して、その延長線上で考えると長続きしやすいです。例えば、子どものころ野球選手に憧れていた人は少年野球のコーチ、小説家を目指していた人は自治会やNPO法人の機関紙を書くボランティア等を探してみましょう。

プロの世界は結果に厳しいかもしれませんが、ボランティアの世界はとても温かいです。気持ち・やる気があれば歓迎してもらえます。